



本当にあった怖い話 症例で学ぶ 呼吸・循環アセスメント50

講座コード R-22

～急変を防ぎ、離床を成功させる究極の評価～

開催日：2021年 1月31日(日) 10:00～16:10

難易度
★★★★☆

会場：インターネット生ライブ中継 見逃し受講期間 2月1日(月)～2月14日(日)

講師：曷川 元 先生（日本離床研究会 学術研究部）

対象：看護師・PT・OT・ST（左記以外も受講可）※先着順：定員になり次第締切り

受講料：会員 8,800円 一般 9,800円（税込） 新入会会費無料



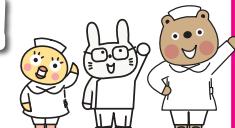
急変・悪化したらどうしよう.. そんな不安を吹き飛ばすとっておきの手段とは？



1つひとつのパラメータの意味はなんとなくわかるけど、離床するとなると急変がコワくて..そんな悩みはありませんか？そんなあなたへの特効薬は、実際の症例で学ぶこと。厳選された50の症例で、現場と同じ状況のアセスメントを経験すれば、“活きた知識”が身につくので、不安が解消すること間違いなし！さあ、あなたもベテランが経験した“離床がうまくいかなかった症例”“急変寸前で気づいた症例”を学んで、アセスメント名人になってみませんか？



“教科書だけ”的知識を“活きた知識”にする! 50の症例で学ぶアセスメント成功術!!



Lesson 01 ここがチェックポイント! 呼吸・循環パラメータがこう変化したら危険だ!!

臨床でパラメータを読むためには、その変化について知るのが一番。
すぐにドクターコールすべき異常か、ちょっと様子を見て良い異常か、すぐに判断できるセラピストを育成!
やってみよう! こんな場合は異常?
Head Upしたら収縮期血圧が130mmHgから100mmHgに低下!
胸痛を伴ってSpO₂ 88%に低下、呼吸音は正常
人工呼吸器を装着したらPaCO₂が50torrに!



このコマで取り上げるパラメータ
血液データ / 心電図 / 血液ガスデータ /
フィジカルアセスメント

Lesson 02 こんな場合は離床してはいけない! 疾患別にみるデータ解釈のポイント

この患者さん、離床は許可されているけれど、こんなデータで大丈夫!?
そんな悩みを解決するため、離床してはダメな場合をまとめて解説!
これを知っていればビクビクしないで大丈夫!!



Lesson 03 こんな症例は急変する! 見逃してはならない急変の前兆と発見時の初期対応

急変は偶然起こるものではなく、必ず起こる前に前兆があります。
「ここだけは!」というアセスメントポイントを徹底解説! もし急変した時の対応もバッチリ学習!!
呼吸困難を訴えている!
胸痛を訴えている!
投薬で明らかに様子が変わった!

人工呼吸器装着中になにかおかしい!
意識レベルが低下した!
体位変換したら呼吸がおかしい! ほか



※この講座は離床アドバイザーリードコースの理論コース1単位を取得できます。

受講方法

- ① ホームページよりオンライン登録
- ② 添付の申し込み用紙に記入の上、FAXまたは郵送

申し込み用紙はホームページからダウンロードできます

日本離床学会

検索

お問い合わせ・お申込先

臨床を元気に! 日本離床学会

〒102-0073 東京都千代田区九段北1-2-12 プラーレビル2F
ホームページ <http://www.rishou.org/>
TEL 03-3556-5585 FAX 03-6272-9683
Eメール jsea@rishou.org

